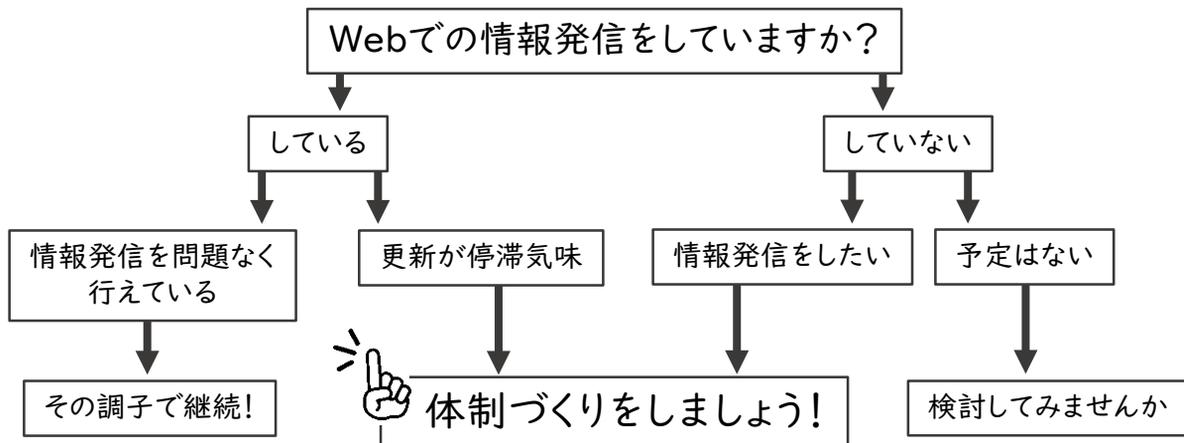


情報発信を行ううえで課題の一つとなるのが、担当者をはじめとした体制づくりではないでしょうか。「やってみたいけどわかる人がいない」「忙しくて更新できない」などのお悩みをよく聞きます。今回は、体制づくりをテーマにお送りします。

## 情報発信のための体制づくり

現状を確認してみよう



更新が停滞している理由として…

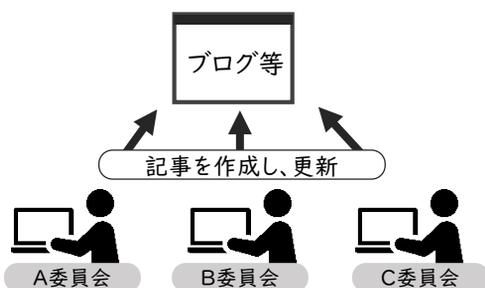
**作業の負担が一人に集中していませんか？**

→取材、記事の作成、掲載など役割分担をしましょう！

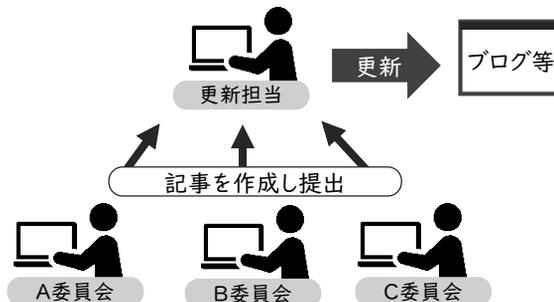
操作研修などを行うことも可能です  
詳しくは4Pへ

例えば…

○団体ごとに記事を作成、更新



○団体ごとに記事を作成 → 担当者が更新



現在のメンバーでは難しい場合は…

**地域に呼びかけ、サポーターを募集しましょう！**

地域にはさまざまな方が暮らしています。呼びかけをおこなうことで、Webに関する仕事をしている方、得意な方をはじめ「なにかお手伝いできるかも…」という方が見つかるかもしれません！

例えば…

- ・募集チラシを作成
- ・自治協だよりに掲載案内を掲載
- ・IT化に関するアンケートを実施し、サポートの意思の有無を問う

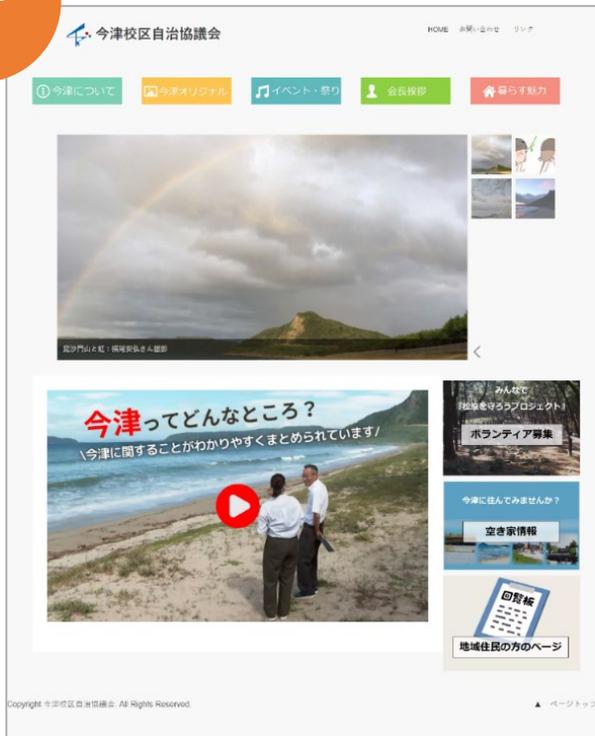
など

# 今津校区自治協議会

ホームページ、Instagram、LINE公式アカウントで校区の情報を発信している今津校区。  
今回は、その取組みについてご紹介します。

●情報発信部会  
メンバー：5名  
(女性4名、男性1名)  
年齢層：30代～70代

## HP



## HP内ブログ



HPはこちら



- ・校区外へ向けた情報発信のため、平成28年4月に現在の形へリニューアル
- ・今津の歴史や文化に関する情報が多数
- ・今津の住民向けのページもあり、行事予定のほか子育てに関する情報も充実している

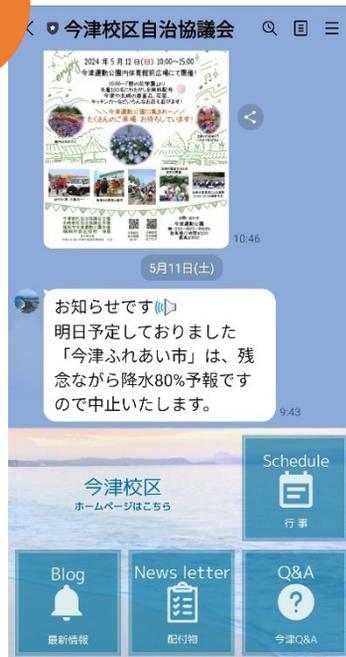
## Instagram



Instagramはこちら



## LINE公式



ここからメニューを開く・

今津の風景や花々、行事の様子などを、写真や動画で紹介している

- ・令和6年4月から運用
- ・地域住民向け
- ・町内会の情報や防災情報など、住民にとって有益な情報をリアルタイムで届けられるようにと開設した

## HP担当者に聞きました!

お話を聞いた方 Nさん (40代女性) Aさん (70代男性)

### Q 関わられたきっかけはなんですか?

Nさん)

平成27年に今津のまちづくり計画が作られ、HPでの情報発信を充実させていこうということになりました。そのお話を聞いて面白そうだと興味がわき、手を挙げました。私自身、今津のことが好きで、みなさんに知ってほしいという気持ちもありました。

### Q HP制作などの経験があったんですか?

Nさん)

いえ、経験もスキルもない状態から始めました。元々HP自体はあったので、前任の方に尋ねたり、自分で調べたりしながらリニューアル作業をしていきました。自身の勉強にもなりますし、やりがいも感じています。

### Q 大変なことはなんですか?

Nさん)

仕事をしながらなので、作業時間を確保することですね。また、技術的にわからないことが多いので、新しい機能をつけるときなどは、方法を調べるところから始めなければいけないということもあります。また、更新作業が属人化してしまうと、その人がいないと続かないということになってしまう可能性があるがあるので、作業を標準化していくかが課題です。

### Q どのようなメンバーでされていますか?

Aさん)

今は5人で運営しています。元々私とNさんの2人でおこなっていましたが、募集して新しいメンバーが3人入ってくれました。1人は移り住んでこられた方です。取材やInstagramの更新を積極的に行ってくれています。

### Q 更新はどのようにされていますか?

Aさん)

基本的に、「できるときにできることをやる」というスタンスです。行事等は、誰かが取材に行って写真を撮っています。掲載する記事は、一旦下書き保存にしておき、他のメンバーに確認をもらってからアップするようにしています。

メンバー同士はLINEでやり取りをしていて、定期的集まることはありませんが、コミュニケーションは密に取っています。

### Q 心掛けていることはありますか?

Nさん)

上手いかわなくても大丈夫という思いで取り組んでいます。とりあえずやってみて、問題が起きたら改善していく。それを会長をはじめ、周りのみなさんが受け入れてくれる体制があるので、安心感を持って取り組むことができています。

## 自治協議会会長に聞きました!



神武会長

### Q Webでの情報発信に力を入れている理由は?

今津は人口減少が続いていて、平成27年ごろには小学生の数が100人を切るかというところまでになりました。そこで、今津の魅力や情報を発信していくことで、移住者も増えるのではないかと思います。

実際に、HP経由で空き家の問い合わせもあります。市街化調整区域の規制緩和などもあり、子育て世代の方がたくさん移住してこられています。その方たちの約80%が30~40代なので、今後もWebでの発信は重要だと思っています。

### Q 新しいメンバーの募集はどのようにされましたか?

自治協だよりなどに掲載し、地域に周知しました。

### Q 自治協として心がけていることはありますか?

担当のみなさんに任せるようにしています。私たちは技術的なところはわからないので、意見などはせず、思うようにやっていただいています。ただ、相談があった時には一緒に考えるようにしています。今回のLINE開設もそうでした。

# サポーターを募集する前に

ただ漠然と「情報発信を手伝ってくれる人!」と募集するだけでは、なかなか人は集まりません。どんなことを頼みたいのか、そのためにはどういうスキルを持った人が居たらよいのかなど、地域に呼びかけを行う前に、役員のみなさんで検討しましょう。

## 何をしてもらうのか

- ブログ・SNSなどの更新・管理
  - ・Webに関する仕事をしている方
  - ・自分でブログを作っていたり、SNSの更新に慣れている方
- 取材や記事の文章作成
  - ・写真を撮るのが趣味の方
  - ・ライターの実験がある方

## どのような待遇にするか

- 活動頻度は?
- 報酬は? など

今津校区のように、任せるところは任せ、必要なことや重要なことは一緒に相談して決めるという関係づくりができてると良いですね



情報発信の方法の検討や体制づくり、サポーター募集についてなど「こういうことがやりたいな」がありましたら、まずは地域支援課へご相談ください!

## 各種サポート制度や補助金もあります!

ブログの開設、運営に利用できる制度もあります。

- 共創による地域づくりアドバイザー派遣制度
  - ・ブログの操作講習
  - ・ブログの開設・改修支援
- 町内会活動支援事業補助金制度

# 「ふくコミ」更新中!

福岡市地域コミュニティサイト「ふくコミ」の西区インフォメーションページでは、地域の行事や取組をご紹介します。今年度も引き続き、各自治協議会や自治会・町内会の行事や取組を掲載していきます。ぜひご覧ください!

ふくコミ  
福岡市地域コミュニティサイト



「ふくコミ」へのアクセスはこちらから!

<https://fukucomi.city.fukuoka.lg.jp/>

## 【連絡先】

西区 地域支援課(西区役所3階 55番窓口)

地域広報アドバイザー 藤野ゆかり

電話 : 092-895-7036

メール : fujino.y10@city.fukuoka.lg.jp

なんでもお気軽にご相談ください!

